

開講学科	システム生体工学科	前橋工科大学 シラバス			
科目名	卒業研究	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		4年次	必修	16103801	
担当教員	学科全教員	単位数	学期	曜日	時限
		8単位	通年		
授業の教育目的・目標	<p>目的：生体工学、メカトロニクス、情報科学を含むシステム生体工学に関する横断的な知識を習得する。</p> <p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 システム生体工学において解決すべき現象・問題など研究課題を明らかにする。 2 研究領域を絞り込み、研究背景と研究目的を明らかにする。 3 研究背景と研究目的に基づき、関連研究を調べ、問題点を抽出し、自分の研究課題を明確にする。 4 自分の研究課題に基づいて、研究計画を立てる。 5 研究計画に沿って、データ・資料を収集し、必要な調査を行い、分析を行う。 6 研究によって得られた知見をまとめ、論文を作成し、口頭発表を行う。 				
学科の学習・教育目標との関係	4年間の学びの集大成である。				
キーワード	調査、分析、総合、研究領域				
授業の概要	指導教員のもとで研究を進める。				
授業の計画	<ol style="list-style-type: none"> 1： 指導教員の指導のもと、研究領域の決定 2： 研究課題を絞り込むために、既往関連研究および文献検索を行い、問題点を抽出する 3： 研究課題（テーマ）と研究内容の決定、および研究計画書の作成 4： 研究の実施。指導教員のもとで進める 5： 研究の実施。生体工学、メカトロニクス、情報科学を含むシステム生体工学に関する横断的な知識を身につける 6： 研究の実施。研究に関する問題の発見、分析、解決に主体的に取り組む能力を養成する 7： 研究を進めるうえでの社会貢献や技術を運用する責任と倫理的な配慮を学ぶ 8： 研究の実施。データ分析、調査、分析、実験を行う 9： 卒業論文中間発表（9月下旬または10月上旬） 10： 研究の実施と共に、論理的思考能力、プレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力を養う 11： 卒業研究の発表（2月上旬） 				
受講条件・関連科目	<p>本学に3年以上在学し、当該年次において下記の要件を満たしていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 1年次および2年次の必修科目の単位をすべて修得していること。 (2) 共通教育科目の卒業要件の単位をすべて修得していること。（44単位以上） (3) 卒業要件の単位の4分の3（93単位）以上を修得していること。 				
授業方法	毎週の卒研ゼミなど、指導教員による。				
テキスト・参考書	指導教員より指示				
成績評価	卒業研究の発表を行い、別途に示す評価表の項目に沿って評価する。				
履修上の注意	4年間で勉強した知識を融合して活用し、よい研究成果を得るために日夜努力してほしい。研究することの大変さと苦しみ、達成感と喜びを感じつつ、立派な社会人になれるよう粘り強く頑張してほしい。				